

## ワタアブラムシ

ムクゲに発生するアブラムシ（幼虫や成虫）。最大長約2mm。体は黄色、緑色、青緑色、黒色など変異が大きい。多発すると枝の伸びが悪くなり、すす病を併発するので木が汚れるといわれている。

野菜（ナス、キュウリなど）の重要害虫としてよく知られている。



1. 幼虫と成虫，最大長1.5mm。2001/9/5.

美唄市，庭のムクゲの花.

【学名】 *Aphis gossypii*

【分類】 カメムシ目（Hemiptera），アブラムシ科（Aphididae）

【分布】 汎世界.

### 【生態】

ムクゲの他に各種の広葉樹や野菜につく。

冬芽の近くに産み付けられた卵で越冬。春に孵化し，新芽や若葉で吸汁加害する。春から秋の間，世代を繰り返す。

### 【被害】

北海道では夏に花や蕾に多数寄生することがある。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ワタアブラムシ abura/watatabu/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/16.

musi.JPG

「写真1」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001.

